

## 銅鳥居

銅鳥居は、修験者が悟りを求めるために参詣する山上ヶ岳へ続く修行の道の一つ目の門です。

山上ヶ岳へ向かう修験者は、四つの重要な鳥居をくぐらなければなりません。銅鳥居は最初の発心門です。修験道の行者は門をくぐるとき、修行が始まります。

鳥居は、神道のものであると思われるかもしれませんが、この銅鳥居は、柱が二つの蓮の花の上に置かれており、仏教の門であることを表しています。

伝承によると、元の鳥居は、奈良の東大寺に安置されている巨大な大仏が作られた際に残った銅を使用して作られました。現在の鳥居は室町時代（1136～1573）に再建されたものです。